

事務事業評価シート(平成19年度実績分)

(1) 事務事業の名称・位置づけ【Plan1】

白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

事務事業コード	事務事業名	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当者係長名	
06110	市町村営住宅管理	建設水道課	建設係	根橋正美	赤羽幸恵	
		一次評価年月日	平成 20 年 7 月 30 日	連絡先(内線)	2165	
事務事業実施の根拠・位置づけ	予算における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名)	会計区分		事業コード	事業名(歳出予算見積書)	
		<input checked="" type="checkbox"/> 一般	<input type="checkbox"/> 特別	0880	住宅管理事業	
	<input checked="" type="checkbox"/> 一般	<input type="checkbox"/> 特別	0881	町営住宅管理事業		
	第四次総合計画後期基本計画の施策体系における位置づけ		章	(コード選択)	3章	夢のある地域形成
			節	(コード選択)	節	町の基盤を整備する
			項[基本施策]	(コード選択)	312	快適なまちづくり
主な取り組み			(コード選択)		#N/A	
関連する計画等への位置づけ		<input type="checkbox"/> 第四次行財政改革大綱	<input type="checkbox"/> 3ヶ年実施計画	<input type="checkbox"/> 主要業務報告	<input checked="" type="checkbox"/> その他	
事務期間		(開始)	年度 ~ (終了予定)	年度	<input checked="" type="checkbox"/> 開始時期不明 <input checked="" type="checkbox"/> 終期設定なし	

(2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。【Plan2】

①対象(〜に対して)……この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

町営住宅の入居者

②目的(意図)(〜という状態にするために)……この事務事業のサービスを提供することによって対象をどういう状態にしたいのですか。

町営住宅の壁、基礎、土台、屋根等の各種設備その他について修繕する必要がある時に、修繕を実施して、安心安全で良好な住宅の維持を図る。

③手段(事業内容)(〜を行う)……上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、事業の実施内容(サービスの概要)を記入します。

- 修繕した必要が発生した時に、業者委託または直営により、修繕整備する。
- 計画的に修繕を行うとともに、緊急の修繕については、居住者の便を図り、すみやかに対応する。
- 健全な住宅管理の為に、住宅使用料の徴収率の向上
- 優良賃貸住宅の建設

(3) 活動指標の設定と推移……(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。【Do1】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度	
		18年度	19年度	20年度(見込み)	21年度(見込み)	22年度	年度(見込み)
①	指標名	修繕実施件数	18	19	20	20	20
	説明	修繕等が必要な件数	目標値設定の根拠 実績から推計				
②	指標名	住宅入居世帯戸数	138	124	122	140	140
	説明	住宅入居世帯戸数	目標値設定の根拠 20年度住宅18戸建設(入居は21年度から)				

(4) 成果指標の設定と推移……(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。【Do2】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度	
		18年度	19年度	20年度(見込み)	21年度(見込み)	22年度	年度(見込み)
①	指標名	入居可能な住居数の割合	75.82	78.48	84.21	86.90	89.02
	説明	修繕・建設による入居可能な住居数÷全住居数	目標値設定の根拠 除却・建設予定戸数から推計				
②	指標名	住宅使用料徴収率	99.66	99.60	99.65	99.70	99.75
	説明	住宅使用料収納額/現年使用料額	目標値設定の根拠 19年度実績より毎年0.05%アップ				

(5) 総事業費(コスト)の推移【Do3】

※事業費の算定方法 決算書・予算書等に記載の数字 按分計算による算定

○総事業費(コスト概算)	=①+②	(千円)	30,148	19,697	25,882	24,985	
対前年比		%		65.3	131.4	96.5	
A) その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など)			25,557	19,697	25,882	24,985	
B) 一般財源(税金)			4,591	0	0	0	
①事業費		(千円)	25,557	15,065	20,114	20,114	
対前年比		%		58.9	133.5	100	
②人件費の概算		(千円)	4,591	4,632	5,768	4,871	
対前年比		%		100.9	124.5	84.4	
	課長	課長補佐	係長	一般職員	延べ人数	年間人件費	年間人件費
	H19 H20 H21	H19 H20 H21	H19 H20 H21	H18 H19 H20 H21	H18 H19 H20 H21	年間人件費	年間人件費
町職員(正規職員)	0.00 0.02 0.01	0.02 0.10 0.04	0.51 0.53 0.51	0.00 0.00 0.00	0.53 0.53 0.66 0.56	4,591	4,632
臨時職員	人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算式)シート					0	0

指標化

(6) 項目別評価 [Check]

視点	項目別評価	判定	評価結果
必要性	1. 事業のニーズに変化はありますか	A	A 増加傾向にある B 変化していない C 減少傾向にある D かなり減少している
	2. 町(行政)が関与する必要性がありますか	A	A 町が主体となる必要がある B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる D 町の関与のあり方を再検討する
目的妥当性	3. 対象の設定は妥当ですか	A	A 対象は現在の設定が妥当である Bの場合その具体的な内容をお書きください B 対象の変更の余地がある
	4. 目的(意図)の設定は妥当ですか	A	A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している Bの場合その具体的な内容をお書きください B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある
有効性	5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度)	A	A 期待したとおりの成果があった C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 概ね期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった D 成果が少なく今後も向上する見込みがない
	6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて)	C	A すでに実施している A・Bの場合その具体的な内容をお書きください B 今後は可能性がある C 今後可能性はない
効率性	7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか	B	A 余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面は余地なし C 一部余地あり D かなり余地あり
公平性	8. 受益者負担は適切ですか	A	A 検討の余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面検討の余地なし C 一部検討の余地あり D かなり検討の余地あり
その他	9. 現在の事業内容(サービス)に対して、対象の声やニーズを把握していますか	B	A アンケートなど具体的な方法で把握している A・Bの場合その具体的な把握方法を、Cの場合その理由をお書きください B 日常業務の中で把握している 入居者からの声を聞いている。 C 把握していない

(7) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) を一つチェックしてください。

- ア. 現状のまま継続する イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止

〈今後の展開方針〉(イを選択した場合のみを一つチェックしてください)

- a 重点化する(コストを集中的に投入する等)
 b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)
 c 効率化を図る(コストを下げる)
 d 縮小する(簡素化する)
 e その他(別事務事業に統合する等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)

事業改善の経過

(事業改善をした内容と実施時期を記入します。)

- ①H20住宅の安全のために火災報知器を設置 ②H20住宅建設のために居住者の移転後除却

事業の方向性の具体化

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)

H20退居後入居不可の住宅は、防犯や環境等の面から除却し管理コストの削減を図る。地域優良賃貸住宅を建設し、若い子育て世代の辰野町への定着化を図る。

20年度予算見積書への反映 あり なし

[反映内容]

公営住宅建設費

(8) 所属長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)

既存住宅の老朽化が課題。平出団地新築による人口増を期待。管理は指定管理方式の検討も必要

上位の施策の推進に貢献していますか。 をチェック

- A. 貢献度 大 D. 上位施策なし
 B. 貢献度 中
 C. 貢献度 小

(今後の方向性 を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持 イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止



b 上記 a~e を選択